

REPORT #000

# UDCO

# まちを紡ぐ

# REPORT

# #000

創刊準備号/  
UDCOについて



INTRODUCTION

紹介



MEMBER

メンバー

→06



CHRONOLOGY

年表

→10

AN  
IGN  
TER  
YA

UD  
CO  
URBAN  
DESIGN  
CENTER  
OMIYA

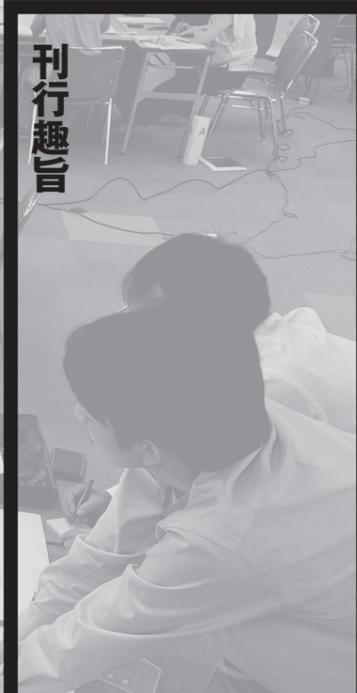


アーバンデザインセンター大宮

大宮エリアマップ

OMIYAMA AREA MAP





**UDCO組織概要 | ORGANIZATION** 04

**UDCOメンバー | MEMBER** 06

**UDCO年表 | CHRONOLOGY** 10

UDCOについて/クレジット 12

刊行趣旨

タイトルの「まちを紡ぐ」には3つの意味が込められています。

- 1 | 大宮の過去・現在・未来を紡いでいく
- 2 | 大宮のまちの担い手・使い手を紡いでいく
- 3 | 大宮の残すべき価値・創るべき価値を紡いでいく

アーバンデザインセンター大宮[UDCO]は、  
上記1-3のように、大宮という街を紡ぎながら、  
街の価値をさらに高めていこうという思いで2017年3月に設立されました。  
今回は、UDCOの初年度となる活動の一部をまとめ、  
ご協力いただいた皆様へのご報告として、  
「UDCO REPORT——まちを紡ぐ」の発行に至りました。

#000では、今後定期的に発行する  
「UDCO REPORT——まちを紡ぐ」の創刊準備号と位置づけ、  
UDCOならびにメンバー紹介、  
そしてUDCOの初年度上半期の活動を振り返ります。

# ORGANIZATION

## 組織概要

### アーバンデザインセンター大宮 UDCO

アーバンデザインセンター大宮(以下、UDCO)は、市民、行政、企業、教育・研究機関など、さまざまな主体が広く連携しまちづくりを推進する基盤として、2017年3月に設置されました。

大宮ラクーン8階にある「まちラボおおみや」を活動拠点に、大宮に関わる多くの人々とともに新たな時代のまちづくりを考え、各々の取り組みを活性化し、それらを相互に連携、相乗効果を生み出していくことを目指しています。

### 1-1 | UDCOの目的

大宮駅周辺は、県内随一の商業・業務機能が集積する地域であるとともに、近年は、北陸新幹線や北海道新幹線の開業により、交通結節点としての存在感が高まってきております。

また、氷川神社や氷川参道、見沼田圃といった多彩な地域資源を有し、自然の豊かさ、歴史、文化を感じることが出来る、東京都心にはない魅力的な都市環境となっております。しかし、現在はこのような大宮のポテンシャルが十分に活かされている状況とは言えず、老朽化した建物が多ことや、災害に備えた強靱性の確保なども含めて、新たな時代に向けた都市再生、まちづくりの推進が求められています。

大宮駅周辺地域では、2010年に行政・市民・専門家が一体となって作成した「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」で掲げるまちの将来像「東日本の顔となるおもてなしあふれるまち」を目指してまちづくりが進められており、大宮区役所の移転・建替事業や市民会館おおみやの再開業事業への機能移転など、公共施設の再編と連動した具体的なプロジェクトが始まろうとしています。

また、国土形成計画(2015.8閣議決定)ならびに首都圏広域地方計画(2016.3大臣決定)では、大宮が東日本の玄関口として、東日本の各圏域を連結する対流拠点としての役割を新たに担い、単に一つのエリアという枠を超え、東日本全体の発展を牽引する存在となることが位置付けされています。

このような大宮駅周辺のこれまでのまちづくりや国土づくりの方向性を踏まえ、市民、行政、企業、教育・研究機関など、様々な主体が広く連携しまちづくりを推進する基盤として2017年3月に「アーバンデザインセンター大宮:UDCO」を設置いたしました。

UDCOは、大宮のまちづくりコミュニティステーション「まちラボおおみや」を活動拠点に、大宮に関わる多くの人々が新たな時代のまちづくりを考え、各々の取り組みを活性化し、それらの相互連携、相乗効果を生み出していくことを目指します。



### 1-2 | 基本理念・運営

UDCOの基本理念は、「産+官+学+民」の連携です。

民間企業による独自性と専門性を活かした役割を担う【産】、自治体や非営利団体(NPO)など地域社会に必要な公共公益的な役割を担う【官】、大学や研究機関などの知識や技術をもとに先進的な役割を担う【学】、市民やまちづくり団体など地域の活力や魅力を向上する役割を担う【民】。それぞれの立場で活動するこれらの主体が、広く連携しまちづくりを推進する基盤として機能するため、「一般社団法人アーバンデザインセンター大宮」がUDCOを運営します。

UDCOは、この基本理念のもと、大宮を新たな時代へと発展するまちにデザインするとともに、良好なまちの形成に向けたマネジメントを提案します。



### 1-3 | UDCOの役割と代表的な取り組み

#### 【UDCOが担う3つの役割】

##### ① まちの姿を創造する

大宮に係わるすべての人が共有できるまちの将来像を創造します

##### ② まちの魅力を育てる

東日本を超え全国から注目される大宮を目指し、まちの魅力や価値、ブランド力の向上を図ります

##### ③ まちの変化を伝える

まちのプロモーターとしてこれから更に魅力的に変化していく大宮の姿を世界中に発信します

#### 【UDCOの代表的な取り組み】

##### ① 学習・研究・提案

多くの主体がまちづくりに係わることができる機会を創出し、学習・研究・提案に加え人材育成を進めます

##### ② 実証実験・事業創出

公共空間やオープンスペースの活用を推進し、まちのストックの最大活用と、まちの魅力や価値の向上を図ります

##### ③ デザインマネジメント

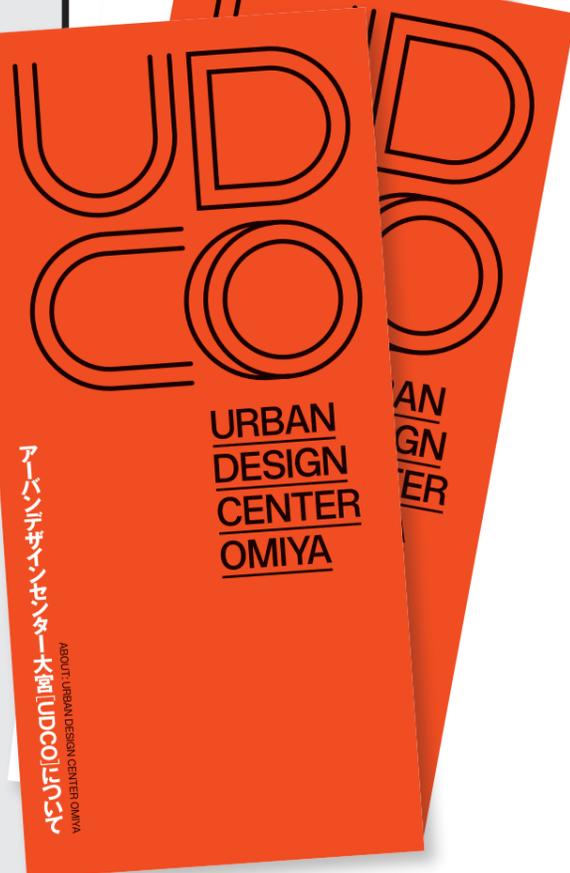
質の高い空間デザインを提案し、行政計画やまちづくりプロジェクトへの企画、提案を行います

##### ④ エリアマネジメント

安心・安全かつ快適な都市空間や生活環境の実現とともに、将来にわたって発展し続けるまちとなるため、地域と連携したエリアマネジメントに取り組みます

#### アーバンデザインセンター大宮 URBAN DESIGN CENTER OMIYA

センター長	工藤和美
副センター長/ディレクター	藤村龍至 内田奈芳美
ディレクター	泉山壘威
コーディネーター	橘昌邦[株式会社POD]
マネージャー	飯島崇
サブディレクター/デザインリサーチャー	石黒卓
デザインリサーチャー	新津瞬 児玉千絵



## UDCO-----MEMBER



## MEMBER #001 | KAZUMI KUDO

## 工藤和美 | UDCOセンター長 | シーラカンズK&amp;H | 東洋大学教授

## 抱負・自己紹介

建築家として、地域のニーズや潜在的な街の力を引き出す提案を重ねてきました。都市計画では、幕張ペイタウンの基本構想において、「住宅で街をつくる」というキーワードを生み出し、若い世代や女性が住みたくなるような沿道囲型の住宅地を計画し、日本の住宅市場に大きな影響を与えました。東洋大学の教員として大宮のまちづくりに関わり、現在「新大宮区役所・図書館」の設計監理も手がけています。UDCOのセンター長として産官学民の知恵を束ね、都市的利便性と自然環境の豊かさを生かし、「多世代に渡って夢を感じるまちづくり」に尽力したいと思っています。

## 略歴

福岡市出身。東京大学大学院博士課程修了。1986年シーラカンズを共同設立、1998年シーラカンズK&Hに改組、現在代表取締役、東洋大学教授。

主な作品に千葉市立打瀬小学校、福岡市立博多小学校、金沢海みらい図書館、山鹿市立山鹿小学校、The University DINING(千葉商科大)、東松島市立宮野森小学校  
都市計画に「幕張新都心住宅地基本構想・基本計画」主な受賞、日本建築学会賞、グッドデザイン賞、International architecture Awards、JIA日本建築大賞等多数



## MEMBER #002 | RYUJI FUJIMURA

## 藤村龍至 | UDCO副センター長/ディレクター | RFA | 東京藝術大学准教授

## 抱負・自己紹介

2010年に東洋大学建築学科に教員として着任したことを契機に、郊外都市の将来像に関心を持って研究・教育活動を開始し、以来埼玉県下の各地でプロジェクトを設定し、展開してきました。東日本大震災をひとつの契機として大宮駅東口周辺のまちづくり活動を立ち上げられた方々の動きに触れた私は、東洋大学と東京藝術大学の合同プロジェクトとして「大宮東口プロジェクト」を立ち上げ、以後4年間にわたって大宮小学校と区役所の跡地、大宮公園などの公共空間の利活用目的を絞って地元の方々や行政職員の皆さんと関わりながら提案を続けてきました。  
大宮駅前おもてなし公共施設「OM TERRACE」は、世界盆栽大会ならびに東京オリンピック・パラリンピックにむけたおもてなし機能の強化策として企画され、幸運にも地元との対話を含めて施設の設計をさせて頂くこととなり、2017年4月にオープンに至りました。屋上の広場は「まちラボおみや」での議論を経て生まれたアイデアです。

そうした大宮との関わりを経て、このたびUDCOの副センター長およびディレクターに着任致しました。道路や広場、公園などの公共空間を積極的に開放することでまちの新しいプレイヤーを育て、まちを活性化する「ストリート・インキューション」を当面のテーマとして、大宮の活性化に取り組んで参りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

## 略歴

建築家。1976年東京生まれ。2005年よりRFA主宰。2016年より東京藝術大学准教授。UDCO副センター長兼ディレクター。主な建築作品に「さいたま市大宮駅東口駅前おもてなし公共施設OM TERRACE」(2017)。埼玉県さいたま市、鶴ヶ島市、鳩山町、神奈川県葉山町、愛知県岡崎市、福岡県東峰村等で公共プロジェクトに携わる。



Photo: Kenyu Shiratsubo

## MEMBER #003 | NAOMI UCHIDA

## 内田奈芳美 | UDCO副センター長/ディレクター | 埼玉大学人文社会科学部研究科准教授

## 抱負・自己紹介

地元埼玉大学の教員として、以前から大宮のまちづくりに高い関心を持っていました。今年度からはUDCO副センター長として関わることができる機会をいただきましたので、にぎわいのポテンシャルの高い大宮駅周辺で地域との協働のもと、地域資源・人的ネットワーク・豊かな都市空間を立体的につなぐまちづくりを目指して行きたいと思って活動しています。  
私は都市計画・まちづくりをこれまで研究してきました。研究の内容としては、石川県金沢市の文化のまちづくりに関する研究、都市のジェントリフィケーション(高級化)に関する研究などがテーマです。これまでに中国の上海・杭州市中心部におけるコミュニティ実態の調査や、留学していたアメリカ・シアトル市のまちづくりファンドの研究、そして現場と連動した商店街のまちづくり研究なども行ってきた経験があります。こういった現代のまちづくり研究の重要なキーワードは「多主体連携」です。特に大宮のような人口が集中する地域においては、多主体連携の意識を共有していくことが魅力的なまちづくりを目指す上で

は欠かせません。大宮ではみなさんと一緒に、「大宮らしさ」を引き立てるまちづくりと、それを支える多主体連携の基盤をつくっていければと考えています。

## 略歴

ワシントン大学修士課程修了、早稲田大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。金沢工業大学講師などを経て、2014年から埼玉大学准教授。主な著書に「まちづくり図解」「まちづくり教書」(共著、鹿島出版会、2017)「都市はなぜ魂を失ったか」(共訳・講談社2013)山出保・まちひと会議編「金沢らしさとは何か」(共同編集・北國新聞社2015)等



## MEMBER #004 | RUI IZUMIYAMA



## 泉山 塁威 | UDCOディレクター | 東京大学先端科学技術研究センター助教

## 抱負・自己紹介

東京大学先端科学技術研究センター助教で、都市の研究や教育に関わりつつ、パブリックスペース特化型ウェブマガジン「ノトノバ」の編集長・代表をしています。

私の専門は、エリアマネジメント(地域経営)や公共空間マネジメントです。地域の価値を高めるためのビジョンや戦略(XL)を描きつつ、並行して、それらを実効性を持たせたり、市民や利用者を巻き込みながらアクションや社会実験などの戦術(XS)を実行し、データドリブンで合意形成や次の事業につなげていく、タクティカル・アーバニズム(戦術的都市変化)のアプローチを研究・実践しています。

大宮は大きな公共事業や民間開発などの動きがありますが、忘れてはいけないのは都市は人の生活を豊かにすることが基本であること。大宮が訪れたい、住みたい街にしていくには街の人がどのような都市生活を送れたら良いか。さいたま新都心との連携も図りながら考え、実践していきたいと思っています。

## 略歴

1984年札幌市生まれ、埼玉県本庄市育ち/博士(工学)/認定准都市プランナー/明治大学大学院博士後期課程修了。設計事務所勤務、明治大学助手、助教を経て2017年より現職。

## MEMBER #005 | MASAKUNI TACHIBANA



## 橋昌邦 | UDCOコーディネーター | 株式会社POD共同代表

## 抱負・自己紹介

これまで過疎地やシャッター商店街から都心の繁華街、問屋街まで、ハード、ソフト両面に渡り多様なまちづくりに関わってきました。時には行政のコンサルタントとして、また民間事業のプロデューサーとして、さらには商店街の理事として、その役割も様々でした。特に東京神田地域では現代板家守の第一号として携わった、リノベーションやシェアオフィスの立上げ、運営、さらにはエリアイベントの企画、運営を行った経験は大きな財産となっています。自ら事業を行うことで知った事業立ち上げの難しさ苦しさは、今も忘れません。

このように多様な経験を積んできましたが、常にマーケティング

を基にハード、ソフトの両面で戦略を考え、戦術を計画し、実行するという点は一貫して変わっていません。大宮においてもこれらの経験を活かし、常に人を主役に考えたまちづくりのお手伝いが行えればと考えています。

## 略歴

東京理科大学理工学部建築学科卒業後、渡仏。帰国後アフタヌーンソサエティに入社、多様なまちづくり、不動産プロジェクトに携わる。2010年にPODを設立、共同代表となる。

## MEMBER #006 | TAKASHI IIJIMA



## 飯島 崇 | UDCOマネージャー

## 抱負・自己紹介

昨年の4月からUDCOの一員として関わっております飯島です。よろしくお願いいたします。

私は、まちづくりに関係する仕事していく中で、まちづくりとは、地域に住んでいる人、働いている人、地域に関わる人全ての人作り上げて来たものを、未来により良い形につなげていくことだと考えるようになりました。これから大きく変わろうとしている歴史ある大宮を、UDCOの基本理念である「産+官+学+民」の連携で、どう未来につなげていくのかを考えていきたいと思っています。

また、大宮の新たな魅力や価値が創出されるよう様々な活動や

情報発信を行っていきたくと思っていますので、よろしくお願いいたします。

## 略歴

金沢工業大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。まちづくりや環境のコンサルティング会社、設計事務所等を経て現職。

## MEMBER #007 | SUGURU ISHIGURO



## 石黒 卓 | UDCOサブディレクター兼デザインリサーチャー

## 抱負・自己紹介

昨年からお世話になります、UDCOの石黒卓と申します。北海道で建築・都市計画を志し、地域の風土や街並みにあられる「地域らしさ」を意識しながら、建築や地域のデザインに取り組んで参りました。

これまで積み重ねてきた大宮の歴史や文化を継承しながら「大いなる宮居」である大宮の風景がどんな風景に変わっていくのか、多様な方々が影響し合いながら、「これからの街」を通してどんな関係性がつくられていくのか。大宮の方々が使いこなせる街、生き活きた暮らしを営める街を具現化していくことが我々の役割だと思っています。

大宮は広域的に重要な位置づけを得て今後大きく変化していきます。UDCOの一員として、大宮のまちづくりの推進力となれるよう、努めて参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## 略歴

北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン専攻修了、工学修士。2017年3月まで建築設計事務所にて復興まちづくりや公共施設設計、地域型住宅に関する調査研究等を経て現職。

## MEMBER #008 | SHUN NIITSU



## 新津 瞬 | UDCOデザインリサーチャー

## 抱負・自己紹介

これまで私が行ってきたことは3つあります。①研究：日本・イタリアにおけるNPOや協同組合等の社会的企業による地域マネジメントの構造・プロセスの調査研究。②まちづくり：東京都の木造密集地改善や新潟県柏崎市の震災復興、ベトナムフエ市の世界遺産マネジメント等の実践。③建築設計：秋田県能代市庁舎等の公共施設の設計、設計とまちづくりの連鎖を生む取組。どの分野でも共通して重要なことは、「ひと」とそれをつなげる「プラットフォーム(媒介)」でした。特に大宮のような多彩でエネルギー的な「ひと」が多くいる地域では、その方々がどのようにつながりながらまちづくりを推進していけるか、というこ

とが大きなポイントです。その「プラットフォーム」の役割を担うUDCOの一員として今回関わる機会を頂きましたので、大宮の価値をさらに高めていけるよう、みなさんと積極的に顔を合わせながら、様々な動きを作っていこうと思います。宜しく願い致します!

## 略歴

山梨県甲府市出身。早稲田大学創造理工学研究科建築学専攻修士課程修了。イタリアフェッラーラ大学経済学修士課程修了。株式会社環境デザイン研究所での設計業務を経て、現職。

## MEMBER #009 | CHIE KODAMA



## 見玉 千絵 | UDCOデザインリサーチャー

## 抱負・自己紹介

はじめまして。昨年の春からUDCOでお世話になっています、見玉千絵です。これまで土木、建築、都市計画の連携による空間づくりの実現や、そのための都市計画制度・体制づくりに関心を持ち、大学で研究に取り組んできました。調査研究で国内外の様々なまちづくりや他のUDCの活動を見てきましたが、今回大宮という歴史ある町の転換点にこうして関わる機会をいただき、わくわくしています。大宮では公共施設再編や駅周辺の高度化、また広域的な重要性も増す中で様々なお題目が掲げられていますが、何よりも皆さんの街への思いが強い!ということに圧倒されています。また、生活の場としても暮らしやすい大

宮の魅力や、春から通勤を始めた私もひしひしと感じています。そんな魅力って地元の方には当然すぎて見え難いこともあるのかもしれない。UDCOの一員として他所者独自の視点も持ちつつ、大宮の魅力を発掘し、深め、発信していきたいと思っています。

## 略歴

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了、同博士課程単位取得退学。2017年3月まで日本学術振興会特別研究員を経て現職。東京大学協力研究員を兼務。



UDCO-----CHRONOLOGY



2017.3-2017.10

PROMOTION

3月31日 | UDCO設置

@miharu saito

4月10日 | Facebook, Twitter, Instagram OPEN

● 4月28日-30日 | Placemaking Project #001  
[都市の盆栽] URBAN BONSAI | @OM TERRACE  
■ 5月1日 | UDCO OPENING CEREMONY



[大宮グランドセントラルステーション化構想]

5月31日 | 第3回GCS 基盤整備推進部会

6月5日 | 第1回GCS まちづくり推進部会

- 6月6日 | 地元まちづくり団体
- 6月9日 | 地元まちづくり団体
- 6月12日 | 民間
- ▲ 6月16日 | 行政・さいたま市
- 6月19日 | 地元まちづくり団体
- 6月21日 | UDC
- 6月23日 | 地元まちづくり団体

- ★ 6月27日 | 大学
- 6月29日 | 地元まちづくり団体
- 7月1日 | 地元まちづくり団体
- 7月3日 | 地元まちづくり団体
- 7月12日 | 民間
- 7月14日 | 地元まちづくり団体

7月18日 | 札幌市公共空間利活用事例視察



RESEARCH



7月27日 | 第3回GCS まちづくり推進部会

8月4日 | 第5回GCS 基盤整備推進部会



PROMOTION



RESEARCH

8月30日 | 第1回GCSオープン会議、第4回GCSまちづくり推進部会

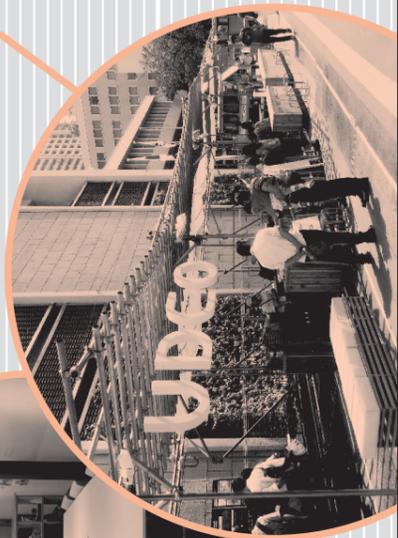
8月30日 | 大宮駅産通りパブリックビューイング実行委員会

9月4日 | 第6回GCS 基盤整備推進部会



9月7日 | UDCO OFFICE RENEWAL

9月15日-24日 | Placemaking Project #002  
[おおみやastreetテラス] | @大宮区役所前道路予定地



10月4日 | 都市再生推進法人指定

10月5日 | 第5回UDCO会議 in 柏

- ▲ 4月11日 | 行政・さいたま市
- 4月12日 | 地元まちづくり団体

- ▲ 4月17日 | 行政・さいたま市
- ▲ 4月18日 | 行政・さいたま市
- 4月21日 | 地元まちづくり団体

- ★ 4月26日 | 大学
- 4月27日 | UDC

- ▲ 5月8日 | 行政・さいたま市
- 5月10日 | 地元まちづくり団体
- 5月11日 | 行政・さいたま市
- 5月12日 | 地元まちづくり団体
- ★ 5月17日 | 大学

- 5月24日 | 地元まちづくり団体
- ▲ 5月24日 | 行政・さいたま市
- 5月25日 | 地元まちづくり団体
- ▲ 5月25日 | 行政・さいたま市

- ▲ 5月30日 | 行政・さいたま市
- ▲ 5月31日 | 行政・さいたま市
- 5月31日 | UDC

- 8月23日 | 地元まちづくり団体
- 8月25日 | 地元まちづくり団体
- ★ 8月25日 | 大学

- 9月5日 | 民間
- 9月8日 | 地元まちづくり団体

- 9月21日 | 地元まちづくり団体
- 9月21日 | UDC

「UDCO REPORT——まちを紡ぐ」  
#000  
UDCOについて  
—  
2018年3月9日発行  
—  
編集・発行:  
UDCO[アーバンデザインセンター大宮]  
—  
協力:  
さいたま市  
—  
デザイン:  
刈谷悠三+角田奈央/neucitora  
—  
印刷:  
高速印刷株式会社  
—  
問合せ先:  
UDCO[アーバンデザインセンター大宮]  
330-0802  
埼玉県さいたま市  
大宮区宮町1丁目60番地  
大宮ラクーン8階  
まちラボおおみや内  
TEL: 048-782-9679  
FAX: 048-782-9680  
—  
©2018 UDCO  
All Rights Reserved

アーバンデザインセンター大宮(以下、UDCO)は、市民、行政、企業、教育・研究機関など、さまざまな主体が広く連携しまちづくりを推進する基盤として、2017年3月に設置されました。大宮ラクーン8階にある「まちラボおおみや」を活動拠点に、大宮に関わる多くの人々とともに新たな時代のまちづくりを考え、各々の取り組みを活性化し、それらを相互に連携、相乗効果を生み出していくことを目指しています。

UDCOの基本理念は、「産+官+学+民」の連携です。民間企業による独自性と専門性を活かした役割を担う「産」、自治体や非営利団体(NPO)など地域社会に必要な公共公益的な役割を担う「官」、大学や研究機関などの知識や技術をもとに先進的な役割を担う「学」、市民やまちづくり団体など地域の活力や魅力を向上する役割を担う「民」。それぞれの立場で活動するこれらの主体が広く連携し、まちづくりを推進する基盤として機能するため「一般社団法人アーバンデザインセンター大宮」がUDCOを運営しています。UDCOは大宮を新たな時代に発展する街へとデザインするとともに、良好な街の形成に向けたマネジメントを提案します。



**一般社団法人アーバンデザインセンター大宮**  
URBAN DESIGN CENTER OMIYA

330-0802 埼玉県さいたま市  
大宮区宮町1丁目60番地  
大宮ラクーン8階まちラボおおみや内  
TEL: 048-782-9679 | FAX: 048-782-9680  
E-MAIL: info@udco.jp | WEBSITE: www.udco.jp  
Facebook: www.facebook.com/  
UrbanDesignCenterOmiya/

**大宮ラクーン 8F | まちラボおおみや内**



まちラボおおみやは株式会社浜友商事のご協力により提供いただいているスペースです。

# UDCO REPORT #000